

2025年11月6日
アディッシュ株式会社

“炎上”も“バズ”も見逃さない。

AIがリアルタイムでSNS動向を分析する『SignalHive』の提供開始

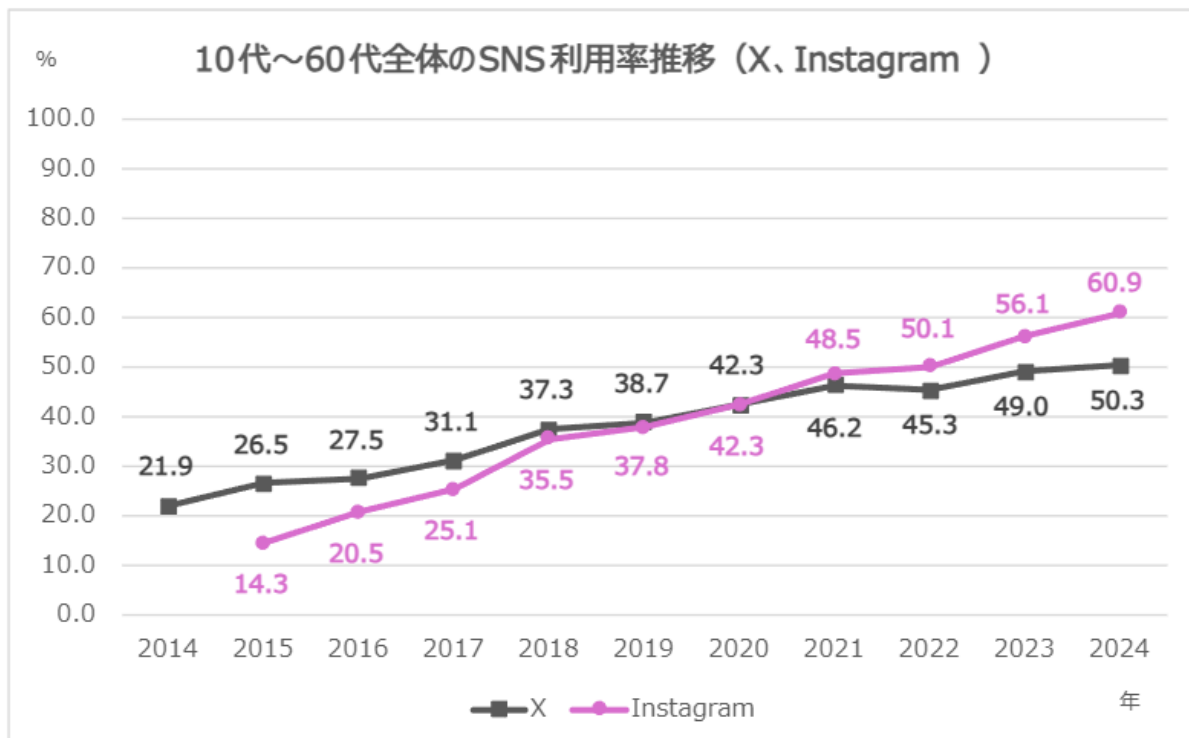
デジタルエコノミー特化のカスタマーサクセスソリューション・プロバイダーであるアディッシュ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 江戸 浩樹、証券コード：7093、以下 アディッシュ）は、SNS上の声を「収集」「判断」「整理」するソーシャルリスニングAIツール「SignalHive（シグナルハIVE）」の提供を開始しました。

SNS上の声に「気づく」ことから「見える化」までを一気通貫で自動化し、リスク対策からマーケティング活用まで対応する「SignalHive」は、DXの推進に貢献します。

サービス名であるSignalHiveは「Signal（信号・兆候）」＋「Hive（ハチの巣）」を意味し、“多くの反応が集まる場所”を表現しています。

「SignalHive」開発背景

総務省のデータによると、10代～60代全体におけるXとInstagramの利用率は拡大傾向にあります。Instagramは2015年の調査以来、年々上昇傾向にあり、2015年の14.3%から2024年には60.9%と46.6ptの増加、Xは2022年にやや減少したものの、2014年と2024年を比較すると、28.4pt増加しています。



※出典：総務省「令和7年度版 情報通信白書 第1部 特集 広がりゆく「社会基盤」としてのデジタル」および「令和6年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」を基にアディッシュにて図を作成

https://www.soumu.go.jp/main_content/001017159.pdf

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd111120.html>

SNS運用担当者における「健全性」と「業務効率化」の課題

SNSの利用率が年々拡大している背景から、近年マーケティング活動などでSNSアカウントを運用する企業が増えています。

アディッシュが提供するSNS監視サービスを利用する（利用検討中を含む）担当者から、以下の悩みや要望を受けています。

- 「クレームや炎上の兆しに気付けない」
- 「施策の効果測定やトレンドの把握に時間を費やしている」
- 「既に分析ツールを導入しているが、機能が多すぎて十分に活用できていない」
- 「SNS上の反響をレポートする日常的な工数を削減したい」

SNS上の声は、リスク対策やマーケティング施策の一環として「把握」だけに留まらず、その声を社内に共有して今後のサービスに活かすことも必要です。これらの背景を踏まえ、SNS上の声から「リスク対策」「マーケティング」に活用可能なデータを効率的に収集・整理できるSignalHiveを開発しました。

SignalHive 概要

SignalHive URL : <http://ja.signal-hive.jp/>

SignalHiveは2つの自動生成機能があります。

- ① Xの投稿を「収集」「判断」「整理」と、AIが自動対応
バズやリスクの兆候と見られる投稿を効率的に検知できるため、迅速に適切な初動対応が可能となります。
- ② レポートを自動生成、ダウンロード可能
自動対応した情報をダッシュボード（図1）で「見える化」します。画面をレポート用にダウンロード（図2）することで、レポート作成業務を効率化します。投稿動向（コメント）もAIが作成します。

図1：＜ダッシュボードサンプル＞

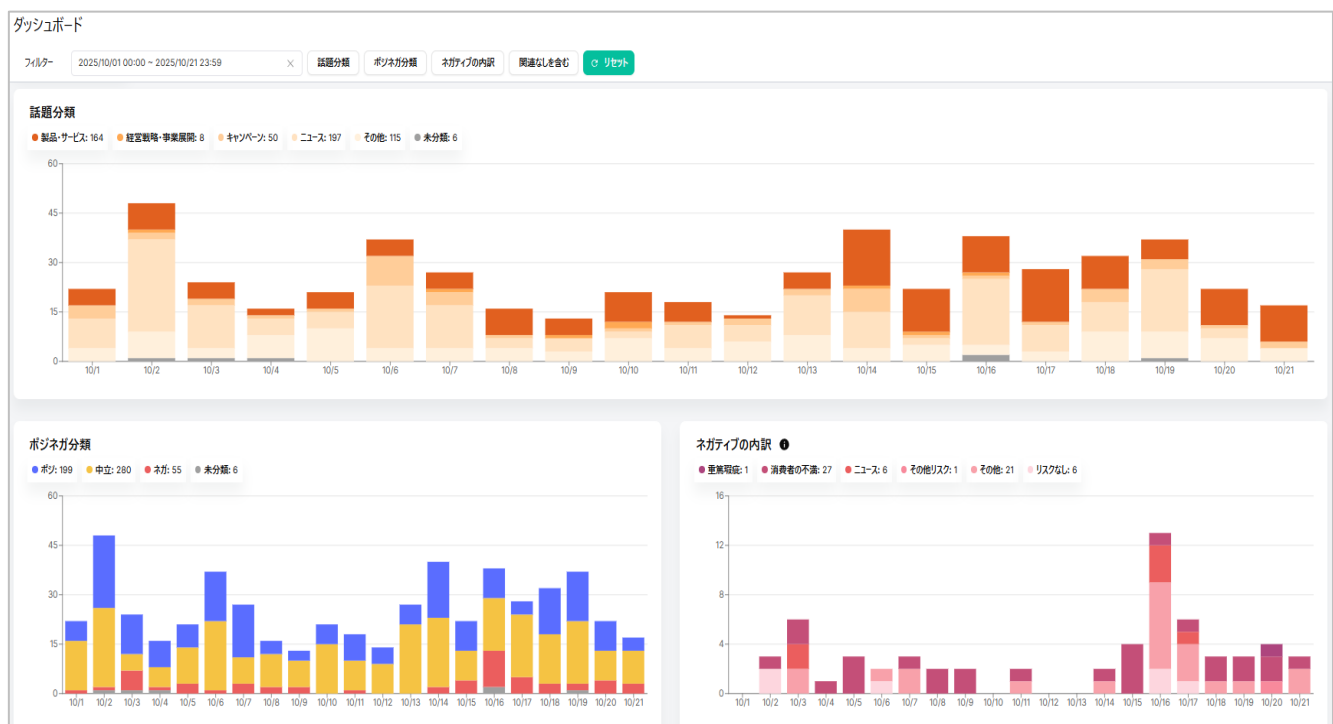
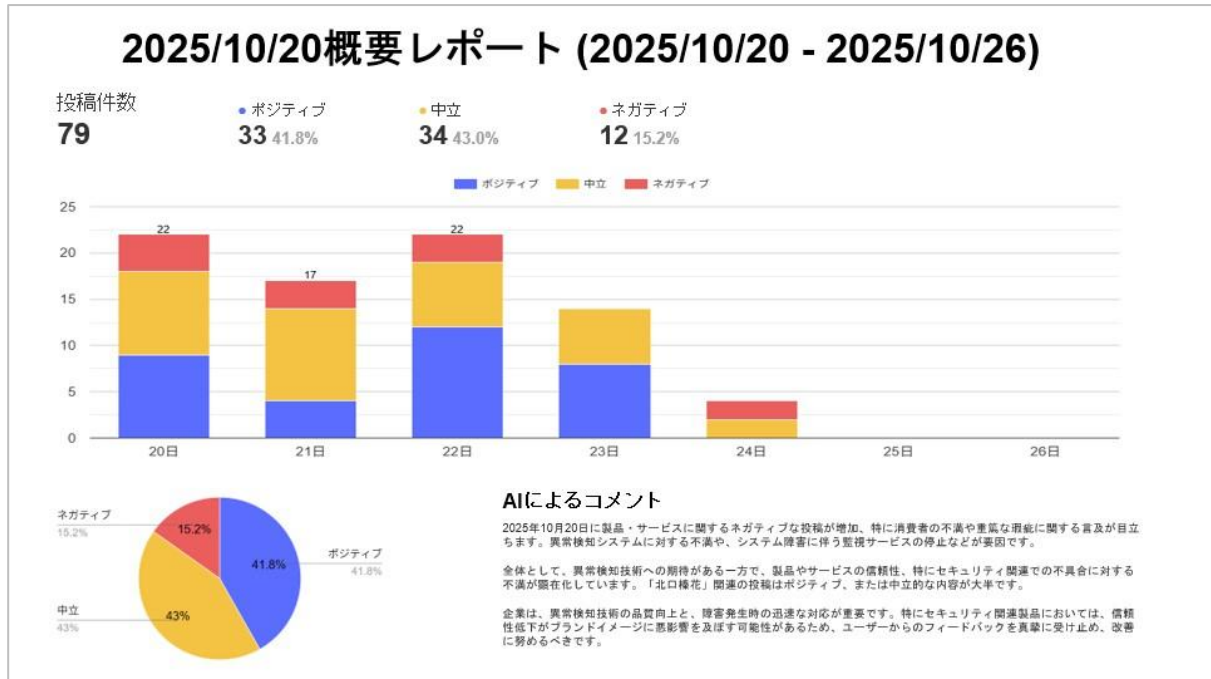


図2：＜レポートサンプル＞



SignalHive「収集」「判断」「整理」の流れ

- ・ 設定したキーワードに合致したX上の投稿を、APIを通じて15分ごとに取得
- ・ 取得した投稿は、AIが話題の内容に応じて自動的に整理したうえでポジティブ・ネガティブに分類
- ・ ネガティブに分類された投稿をリスク項目ごとに内訳分類
- ・ 整理された情報はダッシュボードで表示
- ・ 投稿が急増した場合には、即時にアラート通知を送付

設定したキーワードに合致した投稿の時間帯別件数が、平均より大きく乖離し異常値と判断された場合、アラート通知を送付します。これにより、バズっている・バズりそうな投稿、炎上している・炎上しそうな投稿を経過観察対象として登録しておく、一定時間おきにインプレッション数などを取得して、推移をグラフで確認できます。

SignalHive料金プラン

投稿件数に応じた3つのプランがあります。

※現在はXを対象としています。他のSNSについても随時対象としていく予定です

①Basicプラン（従量課金制）

投稿件数：月1,000件まで

月額料金：8,000円～（税込8,800円～）

②Middleプラン

投稿件数：月5,000件まで

月額料金：38,000円～（税込41,800円～）

③Proプラン

投稿件数：月10,000件まで

月額料金：75,000円～（税込82,500円～）

■アディッシュのソーシャルリスク対策「MONI」 概要

アディッシュのリスク対策「MONI」は、「あんぜん、あんしんを、あたりまえに」というサービスミッションのもと、企業のソーシャルリスク対策全般を支援しています。SNSアカウント監視、ソーシャルリスクモニタリング、従業員向けSNS研修サービス、SNSガイドライン策定支援などを通じて、企業のソーシャルリスク・風評被害を最小限に抑えます。SNSリスクに限らず、SNS関連で発生する業務に対するサポートも実施しており、SNSキャンペーン事務局サービスの展開も今後強化していく方針です。

<https://monitor.adish.co.jp/>

■アディッシュ株式会社 概要

設立 : 2014年10月1日（東証グロースコード：7093）

代表者 : 代表取締役 江戸 浩樹

本社所在地：東京都品川区西五反田1-21-8 ヒューリック五反田山手通ビル6階

URL : <https://www.adish.co.jp/>

事業内容 :

- ・カスタマーサクセス/カスタマーサポートの設計コンサルティング・運用サービス・常駐サービスの提供
- ・誹謗中傷および炎上対策
- ・学校向けネットいじめ対策

【報道関係者お問い合わせ先】 コーポレートコミュニケーション 白髭

Tel : 03-5759-0334（代表） Mail : info@adish.co.jp

お問い合わせフォーム : <https://www.adish.co.jp/contact/>

【サービスに関するお問い合わせ先】 カスタマーサクセス事業本部 コミュニティ共創事業部 佐藤

Mail: signalhive-support@adish.co.jp

※記載されているサービス・商品名、会社名は各社の商標および登録商標です

※本リリース情報は、2025年11月6日現在の情報です